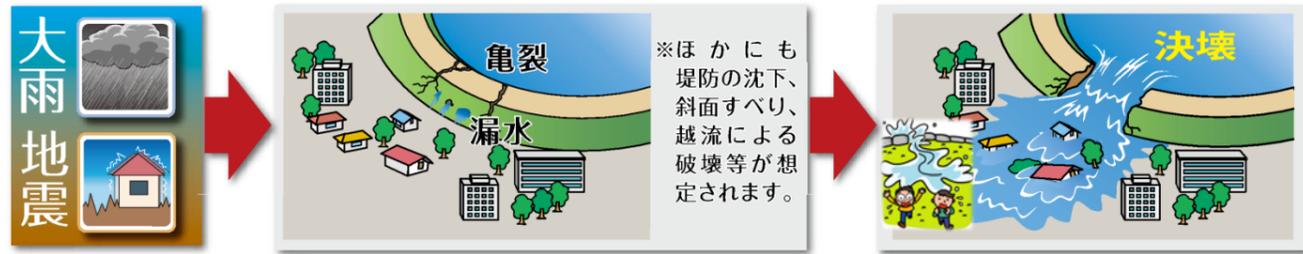


□ ため池の決壊要因と災害事例（大雨のときや地震のあとは注意しましょう。）

ため池の堤防は日頃から安全管理を行っていますが、施設の耐用能力を超える大雨や地震の発生によって損傷を受ける場合があります。大雨のときや地震のあとは、ため池の決壊に注意が必要です。



大雨

兵庫県

災害事例

地震

福島県

平成16年の台風23号では、大雨により、兵庫県の淡路島で約1,300か所のため池が被災し、約180か所のため池が決壊しました。同県洲本市では、ため池決壊による河川増水により2名の犠牲者が出る被害となりました。

平成23年3月11日の東日本大震災では、地震により、福島県内では約750か所のため池が被災しました。また、同県須賀川市で藤沼湖が決壊し、死者・行方不明者8名の犠牲者が出る被害となりました。

□ 防災情報の収集先（避難に備え早めの情報収集をしましょう。）

情報源	情報の種類	ウェブサイトアドレスなど
滋賀県防災ポータル	県内の防災関連情報や関連サイトなど	http://www.pref.shiga.lg.jp/bousai/
滋賀県土木防災情報システム	県内の気象情報や注意報・警報の発表状況など	http://shiga-bousai.jp/ (携帯サイト) http://shiga-bousai.jp/mobile/ (スマートフォンサイト) http://shiga-bousai.jp/sp/
リアルタイム川の防災情報	全国の雨量情報や水防警報など	http://www.river.go.jp/
気象庁	全国の気象情報や地震情報など	http://www.jma.go.jp/jma/index.html
その他（テレビ、ラジオ、甲良町ホームページなど）		

□ 甲良町から呼びかける避難情報（危険が迫った場合は早めに避難しましょう。）



気象状況などにより避難情報が聞こえない場合や、伝達が間に合わない場合もありますので、身の危険を感じたら早めに避難して下さい。

【ため池ハザードマップに関するご意見・ご質問は】

甲良町役場 TEL 0749-38-3311（代） ホームページ <http://www.kouratown.jp/>
〒522-0244 滋賀県犬上郡甲良町在土353-1

保存版 甲良町ため池ハザードマップ（西蓮池）

作成：平成29年3月

この「ため池ハザードマップ」は、西蓮池が決壊した場合に想定される浸水区域や水深、および避難に役立つ情報をとりまとめたものです。ため池が決壊するおそれのある場合または決壊した場合に、迅速かつ安全に避難するために役立ててください。



ため池災害は次の特徴があります。
●地震時は決壊の予兆がわからない場合があります。
●決壊すると大量の水が短時間で押し寄せる可能性があります。
●ため池の下流では大きな被害になることもあります。

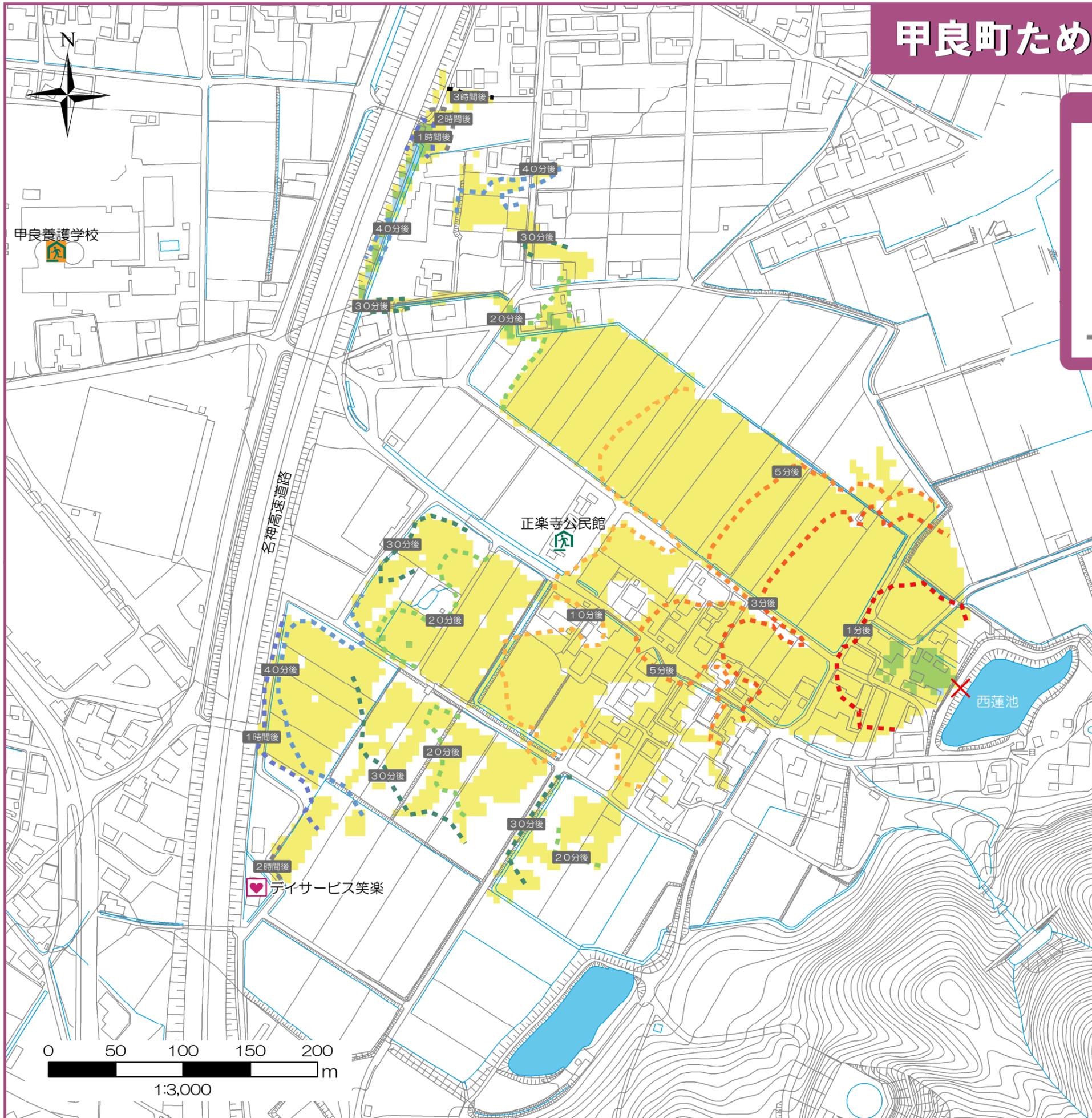
西蓮池の大きさと貯水量
堤長：180m
堤高：2.4m
貯水量：5,000m³

【西蓮池の現状】
この池は、農業用水を確保することを目的として、江戸時代以前に築造されました。近年では施設の老朽化もみられ、施設の耐用能力を超える大雨や大規模な地震が発生した場合、堤防が損傷を受け決壊に至る可能性があります。万が一ため池が決壊した場合には、池の下流に一度に大量の水が短時間で押し寄せる可能性があり、注意が必要です。

□ ため池ハザードマップの活用方法（急な事態に備えましょう。）

- 【1】 想定される浸水区域や深さなどをチェックしましょう。**
自分や家族などの居場所と、浸水深やはん藍水の到達時間を確認しましょう。緊急時にも地図を確認できるように、居場所には印をつけておきましょう。
- 【2】 避難場所を決めておきましょう。**
浸水深やはん藍水の到達時間より、どこへ避難するかを決めておきましょう。避難時間がなかったり避難途中で浸水した場合に緊急避難できる場所も探しておきましょう。家族の連絡先を確認しておきましょう。
- 【3】 避難場所までの避難経路を考えましょう。**
避難場所まで実際に歩いて、移動時間を確認しておきましょう。避難途中で浸水した場合に緊急避難できる場所を探しておきましょう。
- 【4】 日頃から家族や地域で話し合いましょう。**
災害時に協力し合えるよう、日頃から家族や地域で役割などを話し合いましょう。避難の際に支援が必要な要援護者への情報伝達や補助内容を決めておきましょう。
- 【5】 防災情報の入手先を確認しておきましょう。**
ため池の堤防が被災すると、短時間で決壊に至る可能性がありますので、日頃から防災情報がどこで入手できるかを確認しておきましょう。
- 【6】 甲良町の公表している他の防災資料もご覧ください。**
甲良町土砂災害警戒区域図および防災マニュアル（震災対策啓発資料／消防庁掲載）には、避難に関する詳しい情報を記載しています。このマップと併せて活用し、急な事態に備えましょう。

甲良町ため池ハザードマップ（西蓮池）



凡例

- ✕ 決壊地点
- 🏠 広域避難場所
- 🏠 一時避難場所
- 📍 福祉施設

※氾濫計算において仮設定したもので、必ずしもこの地点が決壊するわけではありません。

..... 氾濫水の到達時間

想定浸水区域

- 5.0m以上
- 2.0~5.0m未満
- 1.0~2.0m未満
- 0.5~1.0m未満
- 0.5m未満

浸水深の目安

- 2階の軒下までつかる程度 5.0m
- 1階の軒下までつかる程度 2.0m
- 大人の腰までつかる程度 1.0m
- 大人の膝までつかる程度 0.5m

地図を見る上での留意事項

【はん濫シミュレーションの条件】

- ① 想定される最大規模のはん濫を想定しています。
- ② 決壊時のため池の貯水量は満水とし、地震または大雨等によって堤防が決壊し、全貯水量が流れ出すと仮定しています。
- ③ ため池決壊の進行速度は、堤防の被災要因によって様々なため、流れ出す水の勢いが強くなる場合を想定し、瞬時に決壊部の堤防がなくなると仮定しています。
- ④ 決壊を想定した位置は、堤防中央付近としています。
- ⑤ 数値シミュレーションは、地形を5mのメッシュで表したモデルを用いて、はん濫流の動きを計算しています。

【ハザードマップ活用の留意点】

東日本大震災の津波被害などでは、ハザードマップで示した浸水想定結果のイメージが固定化され、状況に応じた避難判断の阻害になったケースがありました。浸水想定結果は、ある一つの仮定条件に基づく結果です。また、詳細な地形等を反映できていない場合もあり、浸水想定区域外での浸水や、想定結果以上の浸水深となる可能性もあります。

このため、ハザードマップは多様な災害をイメージする基礎情報であることに留意し、災害が発生した時は、状況に応じた柔軟な避難行動を心がけてください。

【ため池決壊時の被害軽減のポイント】

- これまでに経験したことがない大きな地震があった場合は、浸水する場所からすぐに避難する行動が重要です。